

合格体験記 4

大阪大学 経済学部 経済経営学科 進学

他の主な合格校： 明治大学 文学部 英米文学科 明治大学 政治経済学部 経済学科

1 志望校決定について

自分が大阪大学を第一志望校に定めたのは高校2年の夏でその理由は主に2つあります。

1つ目は**文系、理系問わずに入学試験を受験出来る学部**であるという理由です。要するに、**多種多様な考えを持った人が集まり、その考えが自分の価値観を刺激してくれる**という理由です。

2つ目は**受験勉強を通して効率よく、大学やその先の人生で用いる能力が養われる**という理由です。大阪大学の英語の試験を例にとると、大問1の英文和訳では、将来、難解な文(構文が複雑であったり、未知の単語が存在する文章等)を読解する際に役立ちます。大問2の長文読解においては、著者の言いたいことを読みとく能力を養えます。大問3の自由英作文では、自分の意見を英語で表明する能力や、英文を繋げる能力が育まれます。大問4の和文英訳では、日本語の読解力や、英語で表現する能力が磨かれます。このように、**自分が将来、人類の知の発展に少なからず役に立つことが出来る人材になるために必要な力を、受験勉強を通して効率的に育成出来る**ため、大阪大学を第一志望校にしました。

2 学習計画について

(1) 1、2年次の学習について

自転車で帰宅、通学していたとき、**思い出す回数を増やす**ために、その日の授業や、学習内容を思い出すということは欠かさずやっていました。この事により思い出す回数が増えてより記憶が確固たるものになったと思います。

(2) 2年3月から受験本番までの具体的な学習法

① 授業の活用法について

自分は3年生になってからの授業では**予習を重視**していました。3年生の授業では既知の事柄を用いて演習を積む授業が多くなるので、自分は授業を知識の漏れがないかを確認し、その漏れを補うために使用していました。そのように使用するためには予習をしっかりとやる必要がありました(ある授業では一回の授業の予習に2,3時間を費やしたものもあります)。さらに予習は答えが与えられていないものを解くので、わからない問題はとことん考えて、**思考力を身に付けるようにし、能動的に予習**を行っていました。

② 自学自習について

2種類の勉強を行っていました。一つ目は**学力を伸ばす勉強(参考書を進める、新規の問題を解く等)**。二つ目が大事で、**学力を維持する勉強(復習等)**です。学力を維持しようとすることで、知識が定着するようになり、これを学習の優先順位の1番目においていました。

(3) 利用した参考書・問題種、その利用法

国語:無敵の現代文記述攻略メゾット

(今すぐ書店に買いに行き、進めた方が良いでしょう。現代文に対する見方が変わります。)

数学:チャート式(数学の解法の辞書として使用)

英語:過去問、京大の過去

(4) 模試の活用方法

模試についても授業と同じく、**知識の漏れがないかを確認するツール**として使ったり、**今現在の受験生内における自分の立ち位置**を把握するために使っていました。また、より正確な、阪大受験生の中の立ち位置を知るために、マーク模試と合わせると3日連続模試となりましたが、**冠模試を受験**しました

(5) 予備校の活用方法

予備校は基本的に学校で一回教わったものをもう一回インプットするものであり、自分が主体的、能動的に考える時間を奪うものだと思います。そのため、よほどの理由(どうしてもならないほど苦手な科目がある、どうしても学びたい先生がいる等)がなければ通う必要はなく、意味もなく塾や予備校に通うことは時間の無駄遣いにしかならないと思います。

(6) 部活動・行事・委員会活動・趣味などとの学習の両立

自分は部活動では常に**長期目標、中期目標、短期目標**を定めて、それらを達成するために必要な練習を考えてそれに取り組んでいました。この事で自己管理能力が上がったり、うまく時間を使えるようになったと思います。自分はこの事を勉強にも応用してうまくいった自負があります。**やはり部活動を頑張**ってよかったです。

(7) 後輩へのアドバイス

志望する大学に記述式の問題がある人は、国語力と思考力がすべての根幹を成します。(理系でも英語で国語力が露呈します。)特に和文英訳や英文和訳があるところでは、より国語力が鍵となってきます。だから、わからない言葉が出てきたらその都度、**国語辞書と漢和辞書**に当たましょう。

一緒に受験を戦える仲間を作りましょう。それが現役生の強みです。僕も一年間、廊下で勉強してきましたが、他の難関大志望者の面白い視点や興味深い解法が自分にとって刺激となり、**皆で「廊下」という集団**の力を高めることが出来たと思います。

これが一番大事なことだと思うのですが、それは進路講演会などでは講演者の意見をまずよく聞き、理解し、そのアドバイスや意見が自分に合うのかを吟味しなくてはならないということです。この事について自分は今までの人生の中で一度しか言われたことがないです。話者は自分の意見が正しいと思い、それを受手にも実践させたいという思いで伝えています。実際、今、この合格体験記を書いている自分も、表明してきた意見が正しいと思っています。だが人の考えは十人十色で時に相反する考えを持っている場合もあります。講演会を開けば開くほど情報過多になってし

まいます。そのため**その情報が自分に合うかを考えて、取捨選択する必要があります。**

(8) 高校生活全般についての感想・意見・反省

京大合格者のように1年生の時から少しずつでも勉強しておけばよかったと思います。1年生の時から勉強していれば、まだまだ自分の実力を高められたと思います。

(9) 合格したときの喜び

喜びは特にありませんでした。進学先が決まってほっとしただけです。それと同時に**大学は通過点に過ぎないのでこれからまた頑張ろう**と思いました。